

一般社団法人 日本ヒューマンヘルスケア学会

第1回学術集会 開催概要

プログラム・抄録集(抜粋)

# 一般社団法人 日本ヒューマンヘルスケア学会

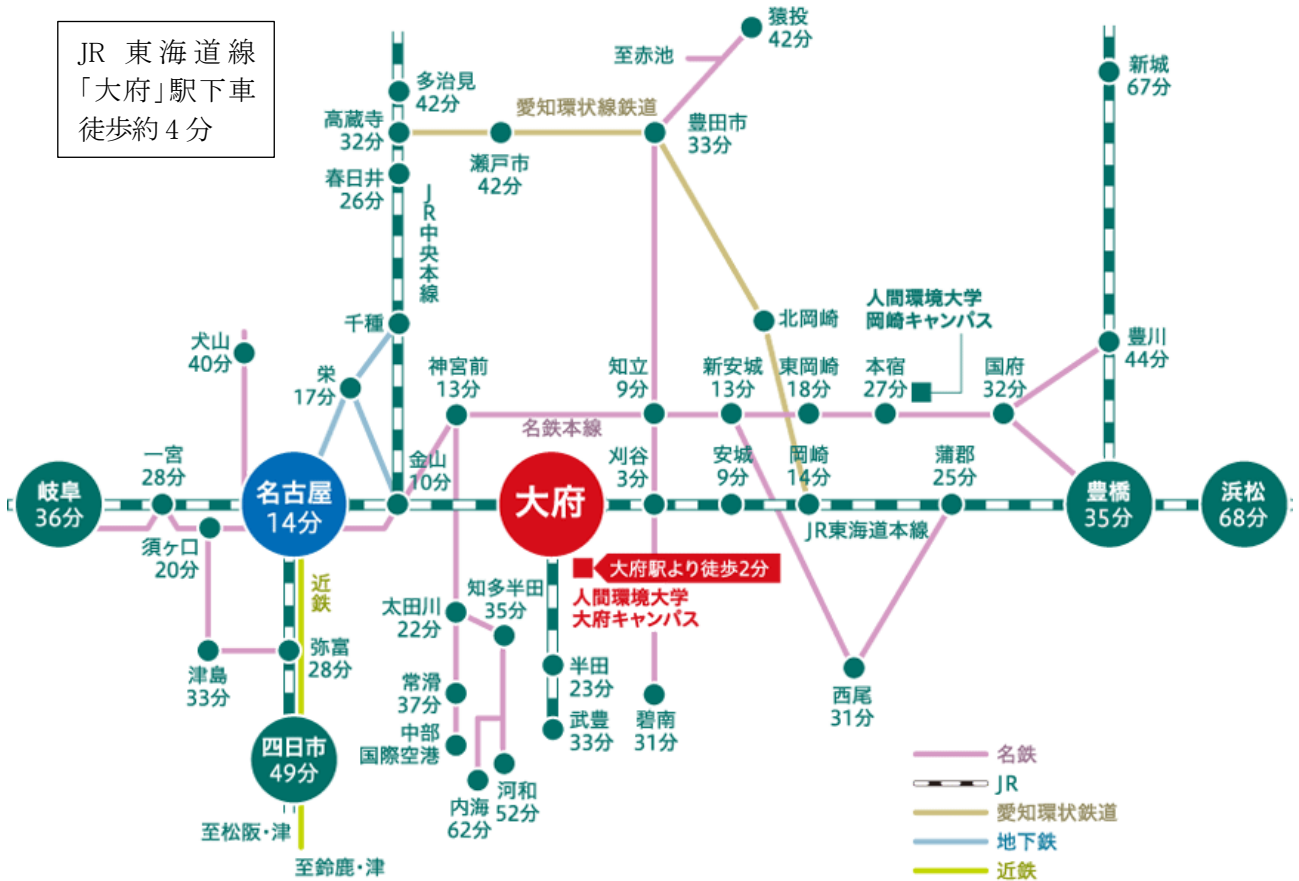
## 第1回学術集会 開催概要

会期 平成29年9月30日(土) 9時30分～17時30分(受付開始9時00分)  
会場 人間環境大学大府キャンパス(愛知県大府市江端町3丁目220番地)  
学術集會会長 藤原奈佳子(人間環境大学看護学部/大学院看護学研究科 教授)  
テーマ ヒューマンヘルスケア:病院から地域へGO!  
参加費 会員:3,000円、非会員:6,000円  
会場までのアクセス <http://www.uhe.ac.jp/guide/access.html>

人間環境大学 大府キャンパス

〒474-0035 愛知県大府市江端町3丁目220番地

TEL 0562-43-0701(代表)



大府駅の改札を出て左(西口)に進み、陸橋を直進します。  
→右前方に人間環境大学の屋上に大学の看板がみえます。  
→突き当たりエレベーターで1階に降りて左折、  
右手に豊田自動織機がみえます。  
→道なりに歩いて約2分、右手が会場です。



## 学術集会に参加される皆様へのご案内

---

1. 受付について

総合受付：3F[A会場]前

受付開始：平成29年9月30日(土)8時30分

2. 学術集会参加者の方は、3F[A会場]前の受付で参加費をお支払いください。

受付終了後、参加証、領収証をお渡しいたします。

会員 3,000円

非会員 6,000円

上記参加費は、障がい者の方の付き添い(介助者)は無料です。

3. 会場の駐車について

会場には駐車場はございません。交通公共機関でのご利用をお願い致します。

4. 荷物のお預かりについて

お荷物の預かり場所がございませんので、お荷物は個人で管理をお願い致します。

万一、お荷物の紛失がございましたも当学会では責任を負えませんことをご了承ください。

5. 会場内の写真撮影について

会場内の写真撮影等は禁止していませんが撮影した写真等を不特定多数に配信されたい場合は、発表者等の許可を得てください。また、ご自身の研究発表(口演スライドや示説掲示物など)の写真撮影等を禁止されたい場合には、その旨をスタッフにお伝えください。

6. 立ち入り禁止場所について

会場建物の7F、8Fは立ち入り禁止となっています。

7. 会場内での飲食について

会場内の飲食は決められた場所をお願いいたします。受付でご提示いたします。

大学及び大府駅周辺にはコンビニエンスストア・飲食店が少しございますのでご利用ください。

8. 災害時

地震・火災などの災害時には、スタッフが誘導いたしますので、誘導に沿って速やかに非難をしてください。

災害時には、エレベータを絶対にご使用せず、階段をご利用ください。

9. 社員総会について

時間：12時50分～13時20分

場所：3F[A会場] 大講義室

10. 情報交換会(懇親会)について

時間：17時40分～19時30分

場所：1F[F会場] Tラウンジ

参加費：会員、非会員ともに2,000円

当日、3F[A会場]前の受付にてお申込みをお願いいたします。

皆様のご参加を学術集会主催者一同お待ちしております。

## 座長・発表者の皆様へのご案内

### 1. 座長の皆様へ

- (1) 3F[A会場]前で受付をすませ、「座長受付」へお越してください。
- (2) ご担当の1時間前にはお越してください。また、発表開始時刻10分前には会場の「次座長席」にご着席ください。
- (3) 演題発表時間は、口演・示説ともに1演題10分（発表7分、質疑応答3分）です。
- (4) 質疑応答では、質問者に所属・氏名を述べ、発言するようにご対応ください。

### 2. 一般演題(口演)発表者の皆様へ

- (1) 3F[A会場]前で受付をすませ、「発表者受付」にお越してください。
- (2) 発表データの受付は、発表1時間前までにおすませください。
- (3) 演題でご使用の会場PC上の発表データは、閉会時に事務局により一括消去を致します。
- (4) 演題発表者は、発表開始時刻10分前には「次演者席」にご着席ください。
- (5) 口演時の進行は座長の指示に従ってください。
- (6) 口演発表時間は、1演題10分（発表7分、質疑3分）です。時間厳守でお願いします。
- (7) 追加または訂正資料がある場合は、当日、各自で会場に持参し、当該演題の発表会場で追加/訂正資料をご自身で配布して下さい。

会場に準備するPCのOSは、Windows 10 Home(64ビット)またはWindows 7 Pro(32ビット)、アプリケーションソフトは、Microsoft Office 2010(Word, Excel, PowerPoint)です。Macを使用される場合は、VGA また HDMI への変換アダプターが必要となりますのであわせてご持参ください。

### 3. 一般演題(示説)発表者の皆様へ

- (1) 3F[A会場]前で受付をすまされた後、11時00分までに「発表者受付」にお越してください。
- (2) 「発表者受付」終了後12:00までに示説会場（[E会場] 実習室（6F））の発表者の演題番号が貼られた指定パネルにポスターを貼付してください。貼付用の画鋏は、各パネルに備え付けてあるものを使用してください。
- (3) 発表時の進行は座長の指示に従ってください。発表時間は1演題10分（発表7分、質疑3分）です。時間厳守でお願いします。
- (4) パネルの貼付物は、16:00までに撤去し各自でお持ち帰りください。時間内に撤去されなかった場合には、事務局にて撤去・処分させていただきます。

発表者は準備したポスターを所定の位置に各自で掲示してください。ポスターの大きさはA0用紙サイズ（縦1189mm×横841mm(A3判横置きで8枚)）です。演題番号を表示するためにパネル左上のスペースA5サイズの1/2(74mm×105mm)は空けておいてください。事務局で演題番号を貼ります。

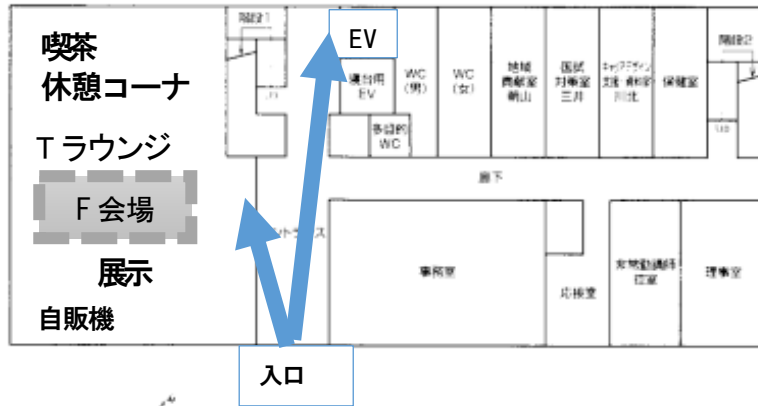
### 4. 共催セミナー(ランチョンセミナー)

先着100名様には昼食をご用意しております。学術集会参加受付時にご案内させていただきます。

# 会場案内

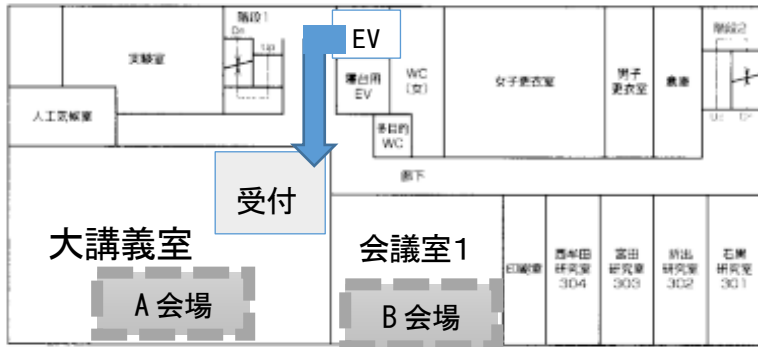
## 1F

1F ラウンジ  
17:40～  
情報交流会

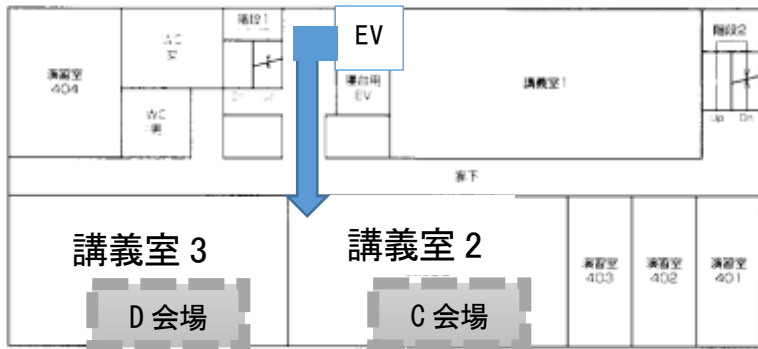


## 3F

3F 受付  
参加申し込み  
座長受付  
発表者受付  
情報交換会申し込み

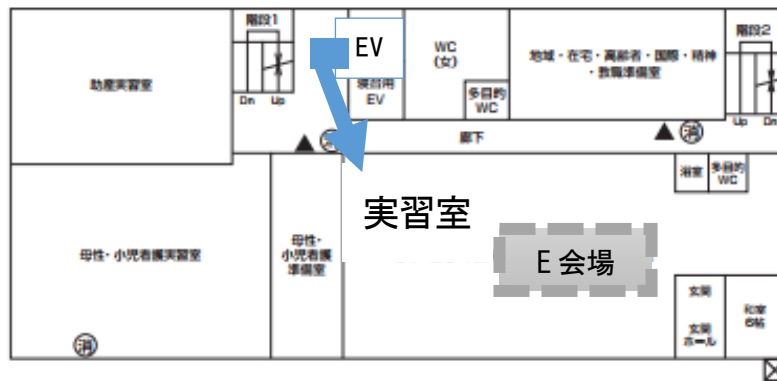


## 4F



## 6F

示説会場



## 会場別日程表

時間	A会場 大講義室(3F)	B会場 会議室1(3F)	C会場 講義室2(4F)	D会場 講義室3(4F)	E会場 実習室(6F)	F会場 ラウンジ(1F)
9:00	受付				一般演題(示説)	9:30~16:00
9:30	開会の辞				13:30~14:10	企業展示
9:35	会長講演:これからのヒューマンヘルスケア:政策と展開 藤原奈佳子(人間環境大学看護学部 教授) 座長:森美智子				第7群 在宅療養 P-7-1~P-7-3 座長:松原紀子	喫茶コーナー
9:50	(人間環境大学大学院看護学研究科 教授)					
9:55	特別講演:看護を吉田松陰の志から学ぶ 川口雅昭(人間環境大学人間環境学部 教授) 座長:杉浦美佐子(相山女学園大学看護学部 教授)				第9群 子育て支援 P-9-1~P-9-4 座長:倉田節子	
10:55						
11:00	教育講演1:ほぼ在宅を実現するために 石田昌宏(参議院議員) 座長:藤原奈佳子(人間環境大学看護学部 教授)				第11群 地域包括ケア P-11-1~P-11-4 座長:内藤直子	
11:50		11:50~12:20 理事会	ランチセミナー (株)アスタリアル		第13群 終末期ケア P-13-1~P-13-4 座長:福田由紀子	
12:40		12:25~12:40 評議員会	(株)ユニ・チャーム 座長:三浦昌子		14:10~14:50 第8群	
12:50	社員総会				認知症と高齢者 P-8-1~P-8-3 座長:臼井キミカ	
13:20					第10群 国際 P-10-1~P-10-4 座長:市川誠一	
13:30	一般演題(口演) 第1群 教育とシステム O-1-1~O-1-4 座長:白井麻希		一般演題(口演) 第3群 退院支援1 O-3-1~O-3-4 座長:鈴江智恵	一般演題(口演) 第5群 制度・サービス O-5-1~O-5-3 座長:結城房子		
14:10					第12群 専門職の役割 P-12-1~P-12-4 座長:小島登美香	
14:10	一般演題(口演) 第2群 医療・ケアの質 O-2-1~O-2-4 座長:三浦昌子		一般演題(口演) 第4群 退院支援2 O-4-1~O-4-3 座長:竹下多美	一般演題(口演) 第6群 地域包括ケア O-6-1~O-6-4 座長:川北美枝子		
14:50					第14群 ケアの質 P-14-1~P-14-4 座長:杉浦美佐子	
14:55	教育講演2: 「ほぼ在宅」をみんなで支えることの実現に向けて 宇都宮宏子 (在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス代表) 座長:島内節(人間環境大学 副学長)					
15:45						
15:50	シンポジウム:ほぼ在宅、ときどき入院の実現には どうするか <座長> 永坂和子(人間環境大学看護学部 講師) 鈴木正子(愛知県看護協会 会長) <シンポジスト> ・「ほぼ在宅」をみんなで支える 杉浦伸哉 (株式会社スギ薬局常務取締役 薬剤師) ・「ときどき入院」を見極める 森田貞子(すみれ訪問看護ステーション 所長) ・病院と在宅を繋げる 波多野京子(春日井市民病院 看護師長) ・職能団体として考える 鈴木正子(愛知県看護協会 会長)					
17:20						
17:20	閉会の辞					
17:30	日本ヒューマンヘルスケア学会第2回学術集会 会長挨拶 安藤純子					
17:40						情報交換会

## プログラム ⇨⇨⇨ 講演、シンポジウム、共催セミナー

### ■第1回学術集会会長講演 9:35~9:50 [A会場] 大講義室 (3F)

これからのヒューマンヘルスケア：政策と展開

演者：藤原 奈佳子 (人間環境大学看護学部/大学院看護学研究科 教授)

座長：森 美智子 (人間環境大学大学院看護学研究科 教授)

### ■特別講演 9:55~10:55 [A会場] 大講義室 (3F)

看護を吉田松陰の志から学ぶ—その「生」の意義の認識を中心として—

演者：川口 雅昭 (人間環境大学人間環境学部 教授)

座長：杉浦 美佐子 (相山女学園大学看護学部 教授)

### ■教育講演1 11:00~11:50 [A会場] 大講義室 (3F)

ほぼ在宅を実現するために

演者：石田 昌宏 (参議院議員)

座長：藤原 奈佳子 (人間環境大学看護学部/大学院看護学研究科 教授)

### ■教育講演2 14:55~15:45 [A会場] 大講義室 (3F)

「ほぼ在宅」をみんなで支えることの実現に向けて

病院の時代から、地域包括ケアの時代へ—この町で暮らし続けたいをかなえるために—

演者：宇都宮 宏子 (在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス 代表)

座長：島内 節 (人間環境大学副学長 大学院看護学研究科長)

### ■シンポジウム 15:50~17:20 [A会場] 大講義室 (3F)

ほぼ在宅、ときどき入院の実現にはどうするか？

座長：永坂 和子 (人間環境大学看護学部 講師)

鈴木 正子 (愛知県看護協会 会長)

〈シンポジスト〉

1. 「ほぼ在宅」をみんなで支える

杉浦 伸哉 (株式会社スギ薬局常務取締役 薬剤師)

2. 「ときどき入院」を見極める

森田 貞子 (すみれ訪問看護ステーション 所長)

3. 病院と在宅を繋げる

波多野 京子 (春日井市民病院 看護師長)

4. 職能団体として考える

鈴木 正子 (公益社団法人愛知県看護協会 会長)

### ■共催セミナー (ランチョンセミナー) 11:50~12:40 [C会場] 講義室2 (4F)

座長：三浦昌子 (名古屋大学医学部附属病院看護キャリア支援室 教授)

1. アスタキサンチンの最新学術情報について

高瀬 正明 (アスタリアル株式会社 MN 事業部 学術教育部長)

2. 高齢者のQOL向上で「地域で暮らす」を実現

～排泄ケアから在宅復帰の要件と多職種協働の機会を探る～

山元 ひろみ (ユニ・チャーム株式会社排泄ケア研究所)

## プログラム ⇨⇨⇨ 一般演題(口演)

13:30~14:10 第1群「教育とシステム」

[A会場] 大講義室(3F)

座長: 白井麻希(半田市立半田病院 看護局)

番号	演題名	発表者
0-1-1	新人看護師の卒後臨床研修制度の成果 ～短期ローテーションを導入～	○三浦昌子 <sup>1)</sup> 、鈴木三栄子 <sup>2)</sup> 、寺田八重子 <sup>1)</sup> 、永家美登理 <sup>3)</sup> 、 横山恵 <sup>3)</sup> 、木村明子 <sup>3)</sup> 、山口弘子 <sup>4)</sup> 、阿部恵子 <sup>1)</sup> 1)名古屋大学医学部附属病院看護キャリア支援室、2)あいち肝胆膵ホスピタル、3)名古屋大学医学部附属病院看護部、4)名古屋掖済会病院
0-1-2	認定看護管理者教育課程ファーストレベル教育の現状と課題	○小島登美香 公益社団法人愛知県看護協会認定看護管理者教育課程主任教員
0-1-3	医療従事者の腰痛の現状と対策	○石川和美 <sup>1)</sup> 、猪飼理恵 <sup>1)</sup> 、梅原尚子 <sup>2)</sup> 、矢野彩子 <sup>2)</sup> 、 深谷英幸 <sup>3)</sup> 1)南医療生活協同組合 総合病院 南生協病院 看護部、2)南生協病院 リハビリテーション科、3)南生協病院 栄養支援室
0-1-4	多職種連携教育(IPE)の2日日程から 1日日程への変更がチームワーク能力 及び IPE に対する認識に及ぼす影響	○阿部恵子 <sup>1)</sup> 、寺田八重子 <sup>1)</sup> 、三浦昌子 <sup>1)</sup> 、末松三奈 <sup>2)</sup> 、 半谷真七子 <sup>3)</sup> 、湊田英津子 <sup>4)</sup> 、内山靖 <sup>5)</sup> 1)名古屋大学医学部附属病院看護キャリア支援室、2)名古屋大学大学院医学系研究科地域医療教育学、3)名城大学薬学部、4)名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻 5)名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻

14:10~14:50 第2群「医療・ケアの質」

[A会場] 大講義室(3F)

座長: 三浦昌子(名古屋大学医学部附属病院キャリア支援室)

番号	演題名	発表者
0-2-1	脳出血にて意識障害のある患者に対して、 背面開放座位を実施した効果	○神谷歩美 <sup>1)</sup> 、山田健太郎 <sup>1)</sup> 、寺田実季 <sup>1)</sup> 1)医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院高浜分院
0-2-2	心臓リハビリテーションと問診票の活用による 個別的指導の組合せによる効果	○榊原充子 <sup>1)</sup> 、竹中利美 <sup>1)</sup> 、浅野恵里香 <sup>2)</sup> 、山村雅仁 <sup>2)</sup> 1)半田市立半田病院外来看護課、2)同6B病棟看護課
0-2-3	自己概念・社会的役割の変化が患者の 治療環境に影響を及ぼした一事例 ーロイ適応理論を用いて看護援助を振り返るー	○橋本明子 <sup>1)</sup> 、竹中利美 <sup>2)</sup> 1)半田市立半田病院救命救急センター・集中治療室看護課、2)同外来看護課
0-2-4	進行子宮頸癌で通院放射線療法を行なった 高齢患者への援助	○谷口恵理子、新美哲子、茶谷ゆかり、村川万理、 橋本真紀代 半田市立半田病院



## 13:30~14:10 第3群「退院支援1」

[C会場] 講義室2(4F)

座長: 鈴江智恵 (一宮研伸大学看護学部)

番号	演題名	発表者
0-3-1	退院支援における家族へのかかわり方～ 老老介護の一事例を振り返って～	○鬼山美穂、佐藤久留美、高橋幸代 刈谷豊田総合病院東分院西棟3階病棟
0-3-2	在宅での看取りを希望した家族への退 院支援	○佐久間智子、新貝朋子、早川美乃理、佐久間智子 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院東分院
0-3-3	失敗から学んだ独居老人の退院支援	○大塚咲枝、溝上恵梨、山下由美子、西明子、久保美幸 刈谷豊田総合病院東分院 東2階病棟
0-3-4	当院における誤嚥性肺炎に対する退院 支援の試み	○武田直也 <sup>1,2)</sup> 、阿部明美 <sup>2,3)</sup> 、金井香世子 <sup>2)</sup> 、伊藤美佐 <sup>2)</sup> 、 白井友香 <sup>2,3)</sup> 、中川祐子 <sup>2)</sup> 、長町文絵 <sup>2)</sup> 、三浦美香子 <sup>2)</sup> 、 吉田千世 <sup>2,3)</sup> 、三浦知佐子 <sup>2,3)</sup> 、鶴羽美紀 <sup>2,3)</sup> 、結城房子 <sup>3)</sup> 1)刈谷豊田総合病院 呼吸器・アレルギー内科、2)刈谷豊 田総合病院 入退院支援室、3)刈谷豊田総合病院 看護部

## 14:10~14:40 第4群「退院支援2」

[C会場] 講義室2(4F)

座長: 竹下多美 (国立長寿医療研究センター)

番号	演題名	発表者
0-4-1	一般病棟から地域までつなぐ退院支援 見える化計画	○渡邊咲佳、澤田恵子、柴田愛美、中村翔菜、羽田野令子、 岸岡陽子、鈴木俊紀 常滑市民病院 地域包括ケア病棟
0-4-2	退院支援における多職種連携と課題	○近藤弘子、野村夢、瀧本恵美 刈谷豊田総合病院東分院 東棟4階
0-4-3	急性期病棟から地域包括ケア病棟への 病床機能変更1年目の評価	○松原紀子、久米淳子 常滑市民病院 看護局

## 13:30~14:00 第5群「制度・サービス」

[D会場] 講義室3(4F)

座長: 結城房子 (刈谷豊田総合病院 看護部)

番号	演題名	発表者
0-5-1	日本における「電話による育児相談」 の歴史の変遷からみた役割と課題	○奥川ゆかり <sup>1)</sup> 、森美智子 <sup>2)</sup> 、倉田節子 <sup>2)</sup> 1) 椋山女学園大学看護学部、2) 人間環境大学大学院看護学 研究科
0-5-2	電話訪問から継続看護につなげる	○聖澤友恵、都築久美子、表香奈、沢田明子、川添玲佳 半田市立半田病院 7A病棟
0-5-3	愛知県ナースセンターの10年間の取 り組みと今後の方向性について	○江上菊代 公益社団法人愛知県看護協会 愛知県ナースセンター

14:10~14:50 第6群「地域包括ケア」

[D会場] 講義室3(4F)

座長：川北美枝子（人間環境大学看護学部）

番号	演題名	発表者
0-6-1	高齢者の地域愛着に関する調査研究 —山間過疎地域の高齢者を対象に—	○高田真澄 <sup>1)</sup> 、植松勝子 <sup>1)</sup> 、山田小夜子 <sup>1)</sup> 、宮田延子 <sup>1)</sup> 、 桂川のぞみ <sup>2)</sup> 、小池万智子 <sup>3)</sup> 1) 中部学院大学看護リハビリテーション学部、2) 東白川村 保健地域包括支援センター、3) 東白川村介護支援センター
0-6-2	地域包括ケアシステム構築の課題と NST 活動評価からみる NST 地域活動へ の展望	○河井丈幸 <sup>1,4)</sup> 、三井豪 <sup>2,4)</sup> 、神谷吉宣 <sup>3,4)</sup> 1) 八千代病院 看護部、2) 八千代病院 栄養科、 3) 八千代病院 内科、4) 八千代病院 NST
0-6-3	医療管理の必要な知的障がい者の在宅 復帰支援 多職種協働で患者の望む生 活を支える	○阿部明美、新美亨子、武田直也 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 患者サポートセンタ ー入退院支援室
0-6-4	地域包括ケアと多職種連携で支える、 ひとり在宅支援診療所	○森亮太 <sup>1)</sup> 、奥村圭子 <sup>1,2)</sup> 1) 医療法人八事の森 杉浦医院 2) 地域ケアステーショ んはらぺこスパイス

## プログラム ⇨⇨⇨ 一般演題(示説)

13:30~14:00 第7群「在宅療養」

[E会場] 実習室(6F)

座長: 松原紀子(常滑市民病院看護局)

番号	演題名	発表者
P-7-1	育児をしながら親の介護をしている心理的負担感の実態と困難感	○川上友美 <sup>1)</sup> 、山本純子 <sup>2)</sup> 、石井英子 <sup>2)</sup> 、山本眞理子 <sup>3)</sup> 、狩野由紀子 <sup>4)</sup> 1) 藤田保健衛生大学看護学部、2) 人間環境大学看護学部、3) 大阪大学大学院研究科博士後期課程、4) (元) 太成学院大学看護学部
P-7-2	医療依存状況にある高齢在宅療養者の療養生活上の葛藤概念の分析	○田中正子、藤本千里、大羽詩織、上西加奈、河野保子 人間環境大学松山看護学部看護学科
P-7-3	ケアミックス病院の看護管理に関する文献の動向	○永坂和子、藤原奈佳子 人間環境大学大学院看護学研究科

14:10~14:40 第8群「認知症と高齢者」

[E会場] 実習室(6F)

座長: 臼井キミカ(人間環境大学看護学部)

番号	演題名	発表者
P-8-1	高齢者へのサロン活動をサポートする意義と効果	○松田武美 <sup>1)</sup> 、安藤純子 <sup>2)</sup> 1) 中部学院大学、2) 人間環境大学
P-8-2	認知症高齢者の家族を支えるー支援者としての振り返りー	○伊藤松恵 春日井市民病院 ナーシングサポート室
P-8-3	医療施設における認知症看護の実践に影響する要因	○天木伸子、百瀬由美子、藤野あゆみ 愛知県立大学看護学部

13:30~14:10 第9群「子育て支援」

[E会場] 実習室(6F)

座長: 倉田 節子(人間環境大学看護学部)

番号	演題名	発表者
P-9-1	小児医療ケア技術習得を目的とした児童デイサービスへの定期訪問	○西山亜紀 訪問看護ステーション 豆大ふく
P-9-2	A病院が実施している「いのちの授業」が子供たちに伝えることー授業後アンケートから考えるー	○稲生智代、中川美葉、村田有紀、福元鳴代、山田ゆう子 半田市立半田病院
P-9-3	切れ目ない子育て支援のモデルといえるネウボラに関する文献的検討	○朝岡みゆき <sup>1)</sup> 、志戸岡恵子 <sup>1)</sup> 、奥川ゆかり <sup>1)</sup> 、星貴江 <sup>2)</sup> 、内藤直子 <sup>3)</sup> 1) 人間環境大学大学院看護学研究科博士後期課程、2) 人間環境大学看護学部、3) 人間環境大学大学院看護学研究科
P-9-4	妊娠前から育児までの切れ目のない産後ケアの取り組み	○丸野広子、坂口美香 社会医療法人財団新和会 八千代病院

## 14:10~14:50 第10群「国際」

[E会場] 実習室(6F)

座長：市川誠一（人間環境大学看護学部）

番号	演題名	発表者
P-10-1	APRC2017 と WHO 指定のアジア太平洋地域結核高負担国」との関連-計量書誌学的方法の試み-	○石井英子 <sup>1)</sup> 、山本純子 <sup>1)</sup> 、安藤純子 <sup>1)</sup> 、高久美智子 <sup>1)</sup> 、江崎道代 <sup>1)</sup> 、藤原奈佳子 <sup>1)</sup> 、森亨 <sup>2)</sup> 1)人間環境大学、2)公益財団法人結核予防会
P-10-2	Expert nurses' awareness of their relationships with clients as part of regional comprehensive care: Group interview method	○Mayumi Uno Dept. Health Science, Osaka University, Graduate School of Medicine
P-10-3	The characteristics and current status of using a baby box and maternal and child health handbook of mothers: the Neuvola in Finland	○Naitoh Naoko <sup>1)</sup> , Hoshi Kie <sup>2)</sup> , Matsubara Noriko <sup>2)</sup> , Asaoka Miyuki <sup>3)</sup> , Shidooka Keiko <sup>3)</sup> , Mitoku Kazuko <sup>1)</sup> 1)University of Human Environment Graduate School of Nursing, 2)University of Human Environment, School of Nursing, 3)University of Human Environment Postgraduate doctoral course, Japan
P-10-4	The characteristics of education provided in nursery schools that cooperate with child health centers in the suburbs of Helsinki	○Matsubara Noriko <sup>1)</sup> , Naitoh Naoko <sup>2)</sup> , Hoshi Kie <sup>1)</sup> , Asaoka Miyuki <sup>3)</sup> , Shidooka Keiko <sup>3)</sup> , Mitoku Kazuko <sup>2)</sup> 1)University of Human Environment, School of Nursing, 2)University of Human Environment Graduate School of Nursing, 3)University of Human Environment Postgraduate doctoral course, Japan

## 13:30~14:10 第11群「地域包括ケア」

[E会場] 実習室(6F)

座長：内藤直子（人間環境大学看護学部）

番号	演題名	発表者
P-11-1	ICTを活用した看看連携-情報の可視化への取り組み-	○横井さつき、深尾夏代 春日井市民病院 ナーシングサポート室
P-11-2	地域住民と共におこなった患者への関わり	○福島みさ代 南生協病院 看護課長室
P-11-3	高度急性期病院から在宅へ、地域包括ケアにおける多職種連携のためのICT運用支援に向けた検討	○松本千佳子 <sup>1)</sup> 、藤原かをる <sup>1)</sup> 、山口美咲 <sup>1)</sup> 、吉田篤博 <sup>1)</sup> 、井手毅 <sup>2)</sup> 1)名古屋市立大学病院 地域医療連携センター、 2)同 病院情報システム係
P-11-4	慢性腎臓病（CKD）外来の現状と今後の課題	○花隈裕子 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 内科外来

## 14:10~14:50 第12群 「専門職の役割」

[E会場] 実習室(6F)

座長: 小島登美香 (愛知県看護協会)

番号	演題名	発表者
P-12-1	看護系大学生の自己同一性と就業動機 -1・2・3学年を対象とした調査から-	○山本純子 <sup>1)</sup> 、川上友美 <sup>2)</sup> 、石井英子 <sup>1)</sup> 、狩野由紀子 <sup>3)</sup> 、 山本真理子 <sup>4)</sup> 1)人間環境大学看護学部看護学研究科、2)藤田保健衛生大 学看護学部、3)(元)太成学院大学看護学部、4)大阪大学大 学院研究科博士後期課程
P-12-2	元受刑者に対する健康実態・意識調査 -インタビュー調査からみえてくるこ と-	○中谷こずえ <sup>1)</sup> 、小寫健仁 <sup>2)</sup> 、臼井キミカ <sup>3)</sup> 1)中部学院大学短期大学部、2)中部学院大学看護リハビリ テーション学部、3)人間環境大学看護学部
P-12-3	急性期病院・地域連携室の薬剤師の役 割	○杉浦充 <sup>1)3)</sup> 、足立守 <sup>3)</sup> 、鶴羽美紀 <sup>1)</sup> 、鈴木朱実 <sup>2)</sup> 1)医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 患者サポートセン ター 地域連携室、2)医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 患者サポートセンター、3)医療法人豊田会 刈谷豊田総合 病院 薬剤部
P-12-4	入退院支援室における薬剤師業務の確 立	○柴田大地 <sup>1)3)</sup> 、木下照常 <sup>1)</sup> 、木村優里 <sup>1)</sup> 、北川加寿子 <sup>1)</sup> 、 佐野理央 <sup>1)</sup> 、小嶋俊輝 <sup>1)</sup> 、渡邊彰己 <sup>1)</sup> 、江崎秀樹 <sup>1)</sup> 、 伊藤有美 <sup>1)</sup> 、佐原祥子 <sup>1)</sup> 、菅原志穂 <sup>1)</sup> 、杉浦友美 <sup>1)</sup> 、杉浦充 <sup>1)</sup> 、 足立守 <sup>1)</sup> 、三浦知佐子 <sup>2)3)</sup> 、鶴羽美紀 <sup>2)3)</sup> 、武田直也 <sup>3)</sup> 1)刈谷豊田総合病院 薬剤部、2)刈谷豊田総合病院 看護 部、3)刈谷豊田総合病院 入退院支援室

## 13:30~14:10 第13群 「終末期ケア」

[E会場] 実習室(6F)

座長: 福田由紀子 (人間環境大学看護学部)

番号	演題名	発表者
P-13-1	終末期の諸症状に対する緩和ケア-皮 膚を引っ張る「施術」の試み-	○川北美枝子 <sup>1)</sup> 、山本純子 <sup>1)</sup> 、永坂和子 <sup>1)</sup> 、鈴木岸子 <sup>2)</sup> 、 内藤恭子 <sup>2)</sup> 、水野サヨ子 <sup>2)</sup> 1)人間環境大学看護学部看護学科、2)朝日大学保健医療学 部看護学科、
P-13-2	看護分野における「死」に関わる文献 の動向と社会的関心	○森早苗 <sup>1)</sup> 、藤原奈佳子 <sup>2)</sup> 、永坂和子 <sup>2)</sup> 1)名古屋第一赤十字病院 化学療法センター外科系 2)人間環境大学大学院 看護学研究科
P-13-3	人生の最終段階における医療体制整備 の効果	○鈴木利恵 <sup>1)</sup> 、山田洋子 <sup>2)</sup> 、渡辺啓介 <sup>3)</sup> 、柴田美香 <sup>2)</sup> 、 森本優子 <sup>1)</sup> 、會津恵司 <sup>1)4)</sup> 1)春日井市民病院がん相談支援センター、2)春日井市民 病院東6病棟、3)春日井市民病院リハビリテーション科、 4)春日井市民病院外科
P-13-4	人生の最終段階における医療の相談員 育成の試み	○森本優子 <sup>1)</sup> 、山田洋子 <sup>2)</sup> 、鈴木利恵 <sup>1)</sup> 、柴田美香 <sup>2)</sup> 、 渡辺啓介 <sup>3)</sup> 、會津恵司 <sup>1)4)</sup> 1)春日井市民病院 がん相談支援センター、2)春日井市民 病院 東6病棟、3)春日井市民病院 リハビリテーション 科、4)春日井市民病院 外科

14:10～14:50 第14群 「ケアの質」

[E会場] 実習室(6F)

座長: 杉浦美佐子 (椋山女学園大学看護学部)

番号	演題名	発表者
P-14-1	慢性期脊髄損傷者の排便管理に関する文献検討	○志戸岡恵子 <sup>1,2)</sup> 、内藤直子 <sup>3)</sup> 1) 人間環境大学大学院 看護学研究科 博士後期課程 2) 摂南大学 看護学部、3) 人間環境大学大学院 看護学研究科
P-14-2	集中治療領域における患者を対象とした看護分野の睡眠評価に対する文献的考察	○伊藤晋作、竹下多美、山田小桜里 国立長寿医療研究センター看護部
P-14-3	高齢者の鎮静下内視鏡検査後に発生する過活動型せん妄の現状	○石田雄城 <sup>1)</sup> 、多田絵里加 <sup>1)</sup> 、安井千皓 <sup>1)</sup> 、水野綾乃 <sup>1)</sup> 、川辺かな子 <sup>2)</sup> 1) 愛知医科大学病院消化器内科病棟、2) 愛知医科大学病院小児科病棟
P-14-4	放尿を繰り返す認知症患者の排泄行動の改善を試みて～排泄行動障害のある患者への看護を通して気づけたこと～	○白石洋二、木村彰宏、清水三千江、西川眞由美 医療法人北林会北林病院 南1病棟